



< 海外調査結果報告 >
社会的処方と
リンクワーカー（英）・ウェルフェアコーチ（蘭）



2024年3月28日
松岡洋子（東京家政大学）

世界の潮流「福祉国家」から「自立・参加型社会」へのパラダイムシフト

「福祉国家」

「できない」をしてあげる

「サービス提供」原則

「制度（専門職）」による解決

「自立・参加型社会」

「したい・できる」を支える

「Well-being」原則

「地域資源（参加、ボランティア）」
による解決

NHS長期計画2019

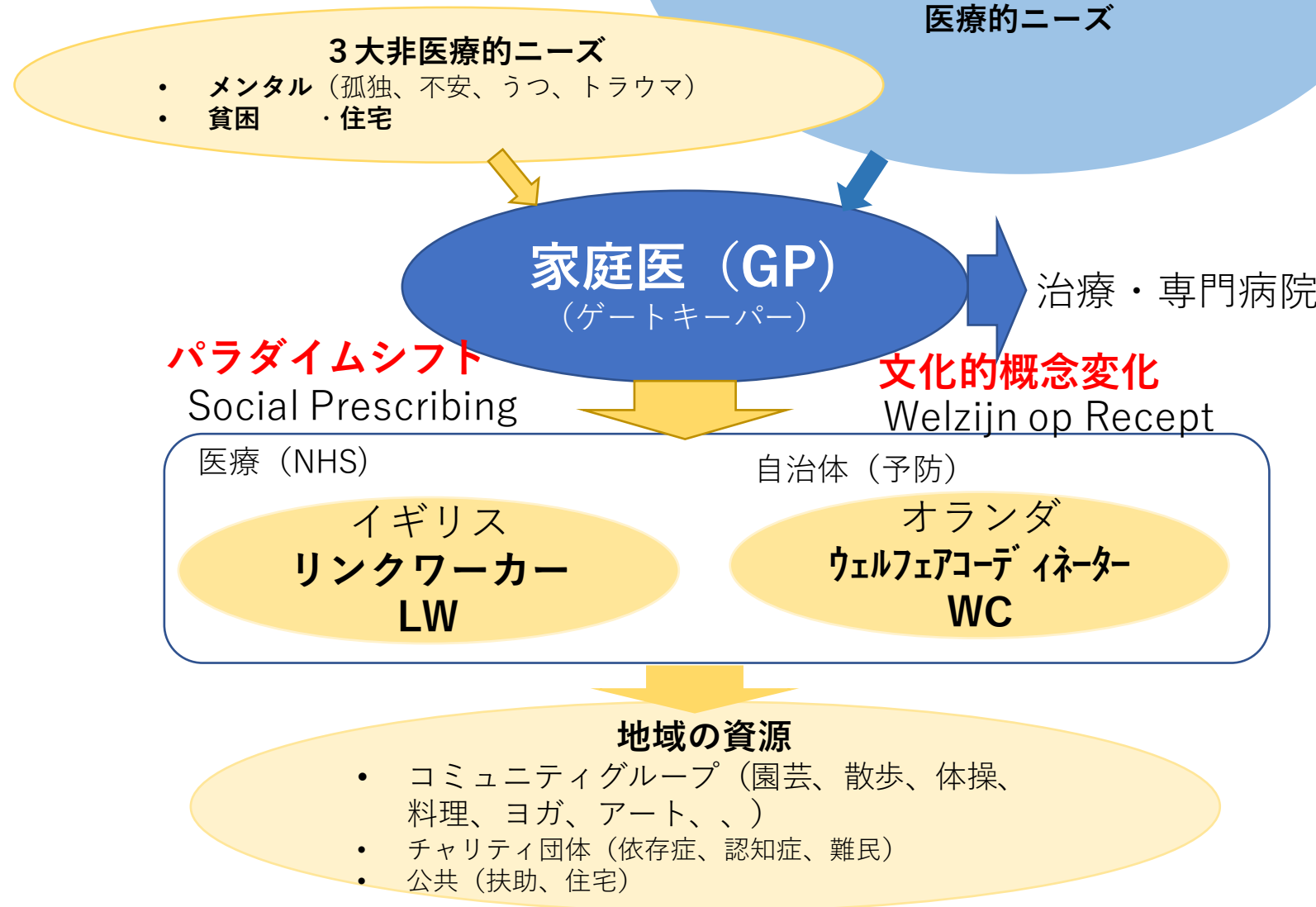
「人と地域の、ヘルス（健康）とウェルビーイング（幸福）」

社会的処方とLW & WC

「非医療的ニーズを持つ人に対して、地域資源やボランティア組織などにつなぎ、その人の健康やウェルビーイングを改善していく」 (GP患者の20%が社会的課題を抱えている)

<背景>

- 少子高齢化
- 疾病構造の変化 (Huber,2011)
- 「健康の社会的要因」への注目 (Marmot,2015)
- 社会構造の変化によるニーズの複雑化
 - 「伝染病は克服したが、孤立・うつ・糖尿病などの社会課題はまだ存在」 (Bromley by Bow所長)
 - 「人生の問題は複雑に絡み合っている」 (Amsterdam市担当)
- 社会的ニーズ、予防への着目





イギリス

- 2019年モデルスタート（20年前から）
- NHS長期計画「個別ケアの包括的モデル」
社会的処方
- 2026年までに、リンクワーカーを9,000人へ。
- 2023/24年には、90万人の社会的処方利用を。

(英国の方向) NHS長期計画2019「個別ケアの包括的モデル」

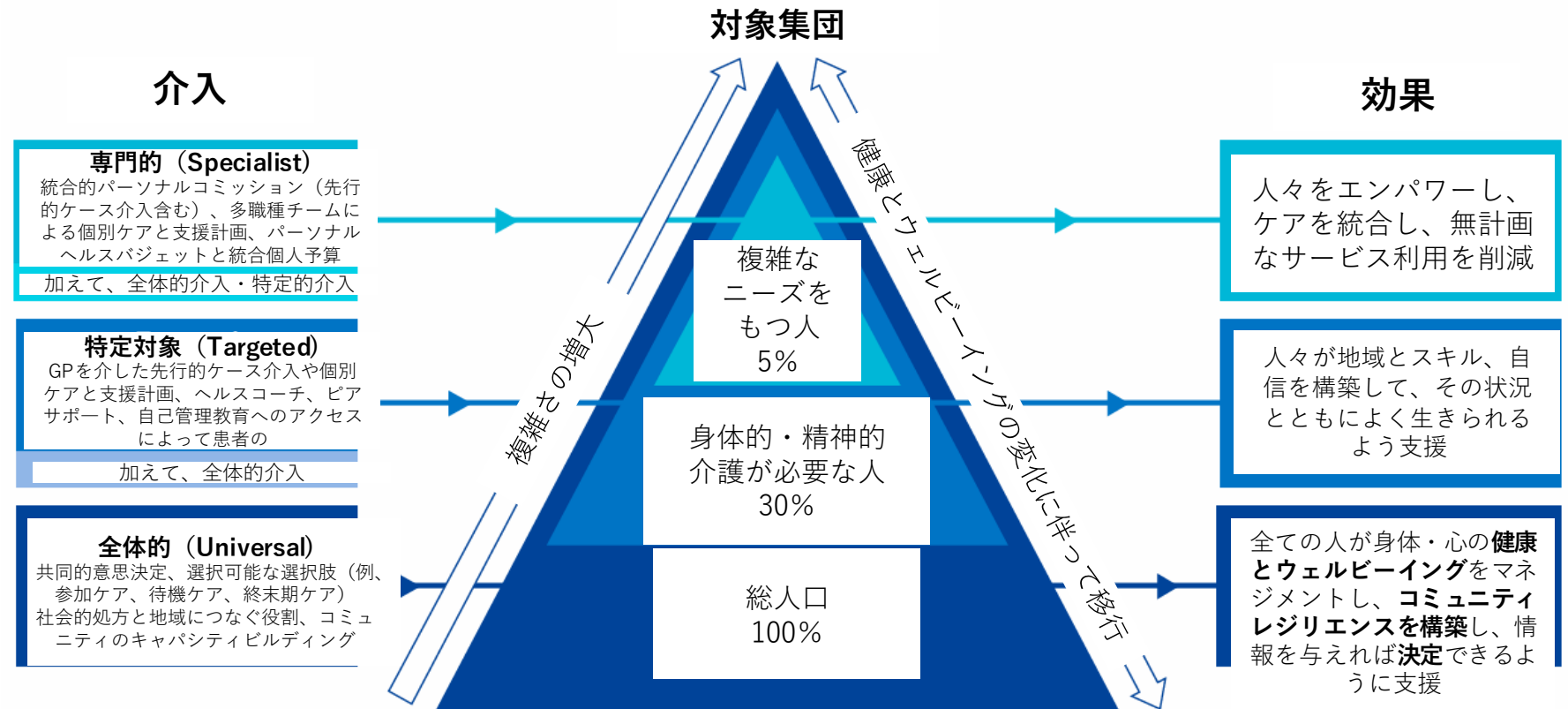
「人と地域の、ヘルスとウェルビーイング」

Comprehensive Personalised Care Model

All age, whole population approach to Personalised Care

NHS長期計画 (2019)

- ① 共同的意思決定
- ② 個別ケアと支援計画
- ③ 法的権利を含め選択できるようにすること
- ④ **社会的処方**と**コミュニティ**を基盤としたサポート
- ⑤ 支援のある**自己管理**
- ⑥ 個人単位の医療・介護予算



(渡邊大輔先生の訳：NHS England » Comprehensive model of personalised care)

NHSでは医療ニーズだけではなく、社会的ニーズにも対応

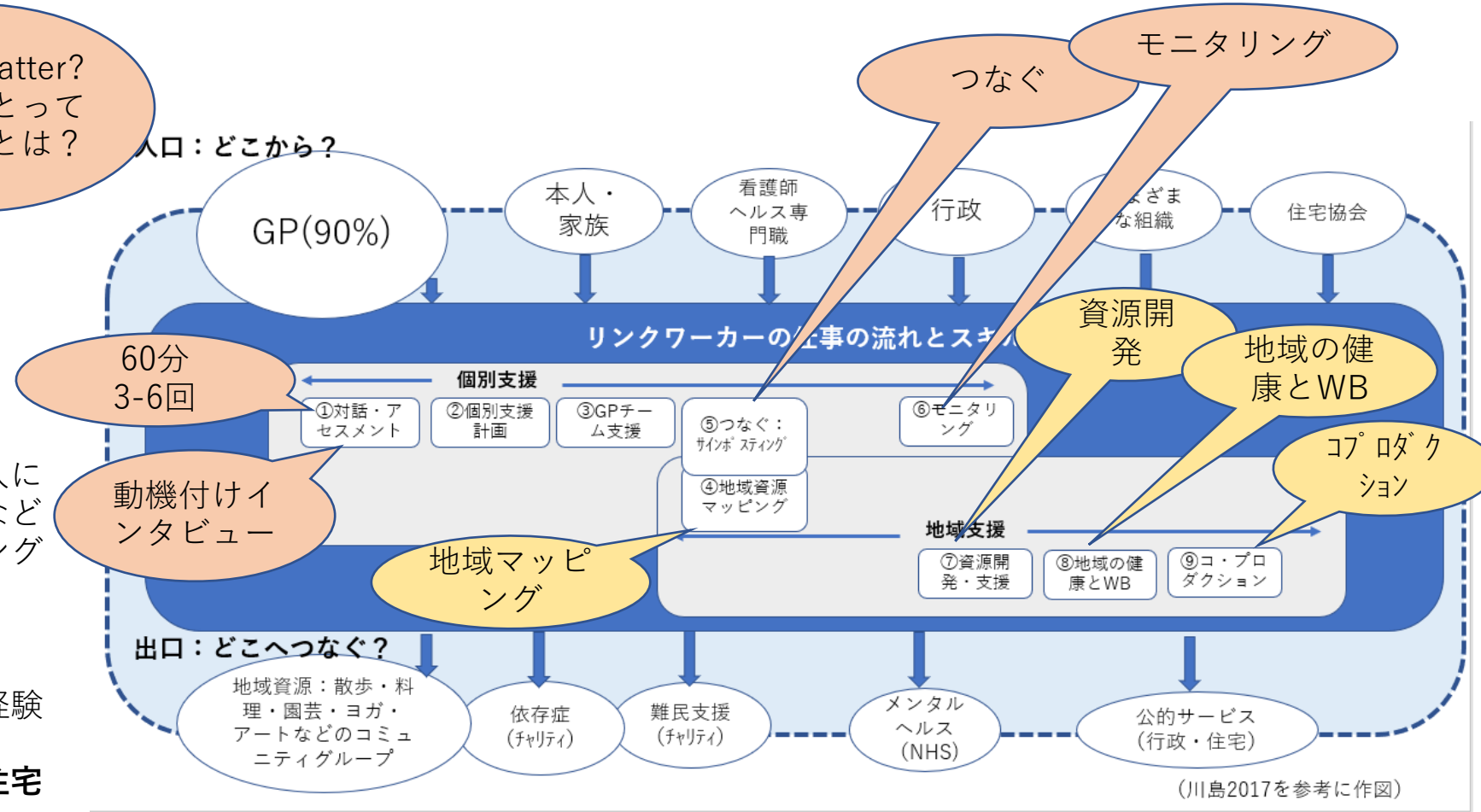
(英国) 社会的処方とリンクワーカー(LW)



- **社会的処方**とは、非医療ニーズを持つ人に対して、地域資源やボランティア組織などにつなぎ、その人の健康やウェルビーイングを改善していくものである。
- LW研修・給与は**NHS**より (2億£/年)
- 家庭医チームのメンバーとして。
- 資格不問。コミュニケーション能力や経験を問う。
- **メンタル** (孤立・不安・鬱) ・ **貧困** ・ **住宅**
- GPの予約減少。

<LWの価値>

- 医師の対話は10分。LWは60分。
- What's matter を問う。
- クライアントとオープンな信頼関係。
- **個別支援 & 地域支援。**



マイケル・マーモット (1945-) 健康の社会的要因に着目した社会疫学者。健康格差は、個人の努力だけでなく、社会的環境によってもたらされる。よって、医療的ケアだけでなく、経済状況や社会状況、環境への介入が重要であることを説いている。

LWのコンピタンス・フレームワーク

(出典：Workforce development framework: social prescribing link worker ; 18/1/2023, NHS England)

個別支援

1. 人と関わり、つながるための能力

- | | |
|-------------------|------------------------------|
| (1)質問スタイルの調整 | (5)むずかしい会話にも臨む |
| (2)積極的な 傾聴 | (6)ニーズに合わせた コミュニケーション |
| (3)情報の要約、理解の確認 | (7)環境意識を示す |
| (4) 共感 | (8)様々な相談方法の活用 |

2. 自分でできるようにサポートする能力 (計画の共同作成)

- | | |
|--|-------------------------|
| (1)個別ケア・サポート計画作成 | (5)平等・多様性・包括性への理解 |
| (2)個人の活性化レベル評価 | (6)支援計画の進捗状況評価 (モニタリング) |
| (3)ヘルスリテラシー評価 | |
| (4)コーチングとモチベーションを高める面接技能 (動機付けインタビュー) | |

地域支援

3. コミュニティ開発の能力

- | | |
|--|-------------|
| (1) コ・プロダクション (個人や地域をSPに巻き込む) | |
| (2) 地域資源のマッピング = アセットベーストな地域開発 (ABCD) | |
| (3) ABCDと地域レジリエンスへの貢献 | (6)地域グループ支援 |
| (4)(5)地域グループへの参加・アクセス支援 | (7)個人予算の周知 |

4. 安全で効果的な実践のための能力

- | | |
|----------------------|------------------|
| (1)多職種チームでの独自の貢献 | (5)正確な記録の保持義務 |
| (2)法律のトレーニング | (6)健康格差等の決定要因理解 |
| (3)個人を危害から守る義務 | (7)SPに関するエビデンス理解 |
| (4)情報ガバナンス原則・プロトコル遵守 | (8)アウトカム測定 |

<研修体制> チャリティ団体

- ① 導入研修 (12のオンライン学習モジュール) から上級追加研修までのコース
- ② 知識・スキル向上のための継続的研修 (ゲストの講話、各種研修への参加支援)
- ③ ALISS(スコットランドでのICTを活用した資源統合システム)などの情報整理

<支援体制：協働を促す環境>

- ① 上司によるスーパーバイザー
- ② 複雑なケースへの対処補助
- ③ LWのウェルビーイング & チームのウェルビーイングへの配慮

地域にさまざまな資源

<アセットマッピング>

- コミュニティグループ
 - 園芸、料理、散歩
 - ヨガ
 - アート
- チャリティ団体
 - 依存症支援、
 - 難民支援
- 公共サービス（補助金、社会住宅）

LWのやりがい
「泣きながら来た人が、帰る時には希望をもって帰っていく」
「その人の変化を自分の目で見ることができる」



地域資源開発の専門家もいる↓





オランダ

- Wmo（社会支援法）、医療保険・介護保険の大改革
- 2022年9月「統合ケア協定」（ケアから、健康へ）文脈で社会処方
 - 2024年1月1日までに導入（自治体と保険者）
 - 自治体予算で実行（75自治体・42%で実践）

(蘭国) Huberのポジティブヘルス

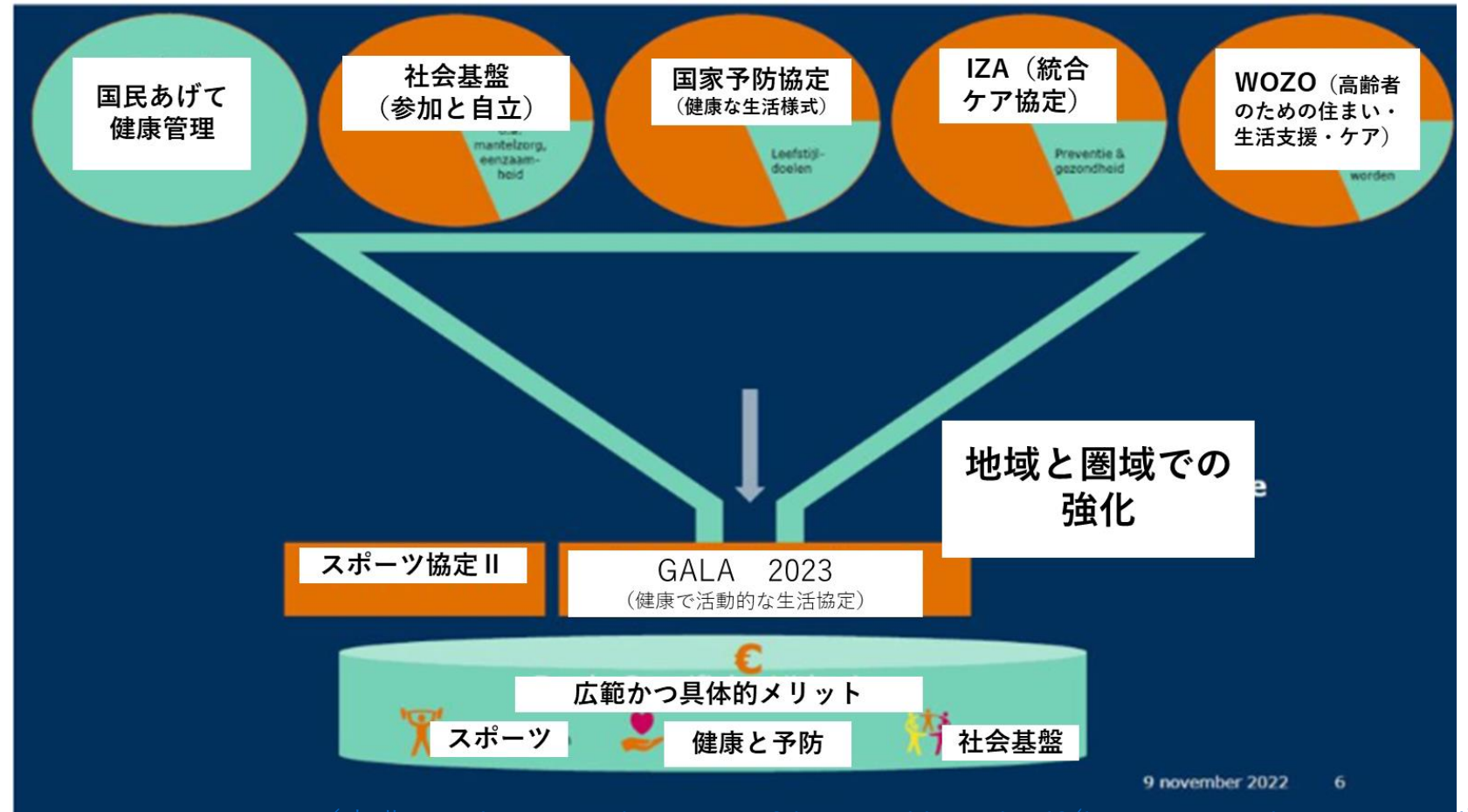
- Machteld Huber (オランダの家庭医) の提唱
- 健康の再定義 (2011)
「健康とは**適応とセルフマネジメントの能力**がある状態」
- 6次元で構成
 - 身体：ホメオスタシス (自然治癒力)
 - 精神：ストレスへの対応
 - 社会：生きがい、社会参加

「生きがいをもって、自分の人生をコントロールしていく生き方」



(蘭国の方向) 「ケア (ZZ) から、健康 (GG) への投資 (予防) へ」

- IZA (2022, 統合ケア協定) : 予防
- GALA (2023, 健康でアクティブな生活協定) : 政府、自治体、保険会社が地域予防政策にさらに取り組めるよう締結した協定。
- 予防医療、プライマリーケア、福祉の関係
- **福祉処方** (Welzijn op recept) はGALAとIZAで明確に言及。



(出典：[gala-gezond-en-actief-leven-akkoord.pdf \(kennisnetgeboortezorg.nl\)](https://www.kennisnetgeboortezorg.nl/gala-gezond-en-actief-leven-akkoord.pdf))

「予防」への大きな流れのなかで、「福祉処方」が位置付けられている。

(蘭) 福祉処方とウェルフェアコーチ

Welzijn Coach

あなたを
ハッピーに
するもの
は？



ソーシャルカフェ



地域の居間



地域食堂



ボランティアさん



- 医療・介護コスト増大、人材不足
- 2022年9月
「統合ケア協定 (Het Integraal Zorgakkoord - IZA)」
 - **予防**を通じて、健康とウェルビーイングに焦点
 - 「**ケア** (ZZ)から、**健康** (GG)へ」

↓

- 「**福祉処方 (Wezijn op Recept)**」 (42%の自治体で：2019)
 - 自治体の一般予算 (予防)。地域の拠点。
 - ウェルフェア・コーチが、地域資源へつなぐ。
 - 約60分の対話。

- 予防への取組み
 - 「ソーシャルカフェ」「地域の居間」「コミュニティレストラン」の増加
 - さまざまな活動 (園芸、、、)

- リエイブルメントも「リエイブルメント・オランダ」

「早く気付いて、早く対処して、問題が大きくなるのを防ぐ」
「これを、地域で行う」

(蘭) 福祉処方とウェルフェアコーチ Welzijn Coach

あなたをハッピーにするものは？



フリスケメレン市



アムステルダム市

- ① GP (福祉処方) ⇒ WC ⇒ 地域資源
- ② 「あなたがハッピーになるには何が必要でしょうか？」
約60分の対話 (動機付けインタビュー)。
- ③ WCは施設・制度・地域の資源を熟知⇒つなぐ。
地域資源開発を行う Buurt WoRker (コミュニケーター) とも協働。
結果はGPに報告してアドバイスを受ける。
約10%は医師に戻すケースもある。
- ④ 3ヶ月後にはモニタリングを行なう。
- ⑤ 資源がない場合、適切な活動をクリエイイト (WCは社会参加を促進する支援者でもある)。
- ⑥ 自転車で地域を巡り、アクティビティの場を訪問してネットワーク形成。
- ⑦ ほとんどが社会福祉士の資格を持つ。

人につなげる！資源は探す！

「つなげる先がないということはない。『場所に行かせる』のではなく、その人にとっての**幸せ**や必要なものを聞きます。昔ビリヤードをしたことがあることがわかったら、ビリヤード好きの人を紹介したい。誰かと仲良くなるとイイかを考える。人と人がつながれば、そこからいろんなことが起きます。行く場所がないなんてことにはならないのです」(中村氏の気づき)

日本の生活支援コーディネーターは…

医療・介護・福祉の最先端（日本でも「地域と人が主役の社会」を指向）

① 「well-being」の専門家！

- 人生の主役として生きる人のwell-beingについて本人と一緒に考える

② 地域資源のスペシャリスト！

- ニーズにマッチする資源を探し出して繋げる。

③ コ・プロダクション！

- 専門職と、仲良く対等な立場で協働できる。
- ①、②のすばらしさを専門職に伝える。

ご清聴ありがとうございました！

matsuoka@tokyo-kasei.ac.jp



松岡洋子著「オランダ・ミラクル」新評論
2021年8月25日 刊行